



# SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

30 YEARS

## 国際交流協会創立30周年記念事業

### 記念式典・祝賀会

当協会は2023年6月1日に創立30周年を迎えました。皆様方の並々ならぬご支援の賜物と深く感謝申し上げます。つきましては、会員の皆様方と一緒にお祝いの宴を催したいと、昨年から実行委員会を発足させて準備を進めてまいりました。ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご来臨を賜りますようお願い申し上げます。

日程：2023年10月29日(日)

【記念式典】16:00～17:00 功労賞および感謝状の贈呈

【祝賀会】17:15～19:30 会員交流会

【アトラクション】ベトナム獅子舞、歌謡、舞踊

場所：千里阪急ホテル 仙寿の間（千里中央駅 徒歩5分）

（豊中市新千里東町2-1）（TEL：06-6872-2211）

会費：4,000円

申込：会員の皆様には往復ハガキにて案内を送付させていただきます。

### 外国人健康増進事業

摂津市の外国人の皆さん・いっしょにスポーツしながら交流しましょう！子ども体操、バドミントン、太極拳、卓球など、24のプログラムに参加できます。

日程：2023年7月1日(土)～2024年3月31日(日)

場所：NPO法人せつブルーウィングスのQRコードより

対象：外国にルーツのある摂津市在住、在勤、在学の方

定員：1プログラムにつき、5名

参加費：無料

申込：NPO法人せつブルーウィングス事務所

TEL：072-665-6139

E-mail：settsusports@gmail.com



プログラムなど、くわしくはこちらから→

### ごちゃませ祭

日程：2023年9月24日(日)

午前11時～午後4時

場所：JOCA大阪と周辺（正雀駅 徒歩3分）

（摂津市正雀本町1丁目20-7 第2文化）

内容：SAIEパネル展示

子ども向けワークショップ

（JOCA & 大学生）

子どもワールド縁日、飲食、福引

雑貨販売

問合せ：JOCA大阪

（公益社団法人青年海外協力協会）

TEL：06-4860-7700

参加者募集！

SAIE主催  
イベント

### 国際理解講座2023

#### 中国の文化紹介 - 中秋節 - 伝統文化篇



講師 山口麗さん

古来から続いてきた中秋節はイコールお月見でしょうか？ 私たちはいつから伝統文化を意識しはじめたのでしょうか。その由来を知り、本物の伝統文化の奥義を見つけませんか？ 月餅と美味しい中国茶をいただきながら、皆さんと交流ができれば嬉しいことと思っています。

日程：2023年9月28日(木) 午後1時半～3時

場所：摂津市コミュニティプラザ会議室1・2

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話で受付（先着順、9/20 締切）



#### ～講師紹介～

中国名：史凱麗（シューカイリー）

出身：天津・日本在住27年

趣味：気功、伝統舞踊の鑑賞

特技：バドミントン、中華料理、洋裁

好きな映画：タイタニック

興味のあること：水墨画、薬草

好きな食べ物：肉まん、餃子

苦手な食べ物：生の玉ねぎ

# イベント報告

## 日本語支援ボランティア養成講座～スキルアップ編～

開催日：6月13日、20日、27日(火)午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2

参加者：1回目19名、2回目18名、3回目20名



1

坂本 由美子さん 大阪YWCA日本語教師会会員、大阪府立高校非常勤講師  
日本語教師が語る「様々な日本語学習者の現場から」(その1)  
～どんな教材を使ってどんな風に? 児童生徒・中国帰国者編～

### 参加者の感想

- 「間違い探し」とか「あみだくじ」など勉強する人にやる気を起こさせるヒントが得られた。
- 今回の実体験に基づいたお話は初めてのように思う。興味を持って聞くことができた。特に絵や漫画を使った学習やゲームに興味を持った。



2

正多 宏美さん 一財)海外産業人材育成協会、「日本語ラボ」日本語講師  
日本語教師が語る「様々な日本語学習者の現場から」(その2)  
～どんな教材を使ってどんな風に? 留学生・就労者編～

- 私の経験上、留学生やビジネス就労者はなかったので勉強になりました。メールを読んですぐに理解できることに驚きました。
- 自己表現の必要性を感じた。



3

安田 乙世さん  
日本語教育支援グループことのは副理事長、NPO法人おおさかこども多文化センター理事  
「生活者としての様々な学習者と向き合うために...地域日本語教室の役割を問う」  
～①②の総括&今後の活動に向けて～

- 「対話」と「協働」を基本に今後もやっていきたい。
- 省察、顧みて深めるという言葉を大切にしたいと思いました。

それぞれの先生がどのように学習支援を行い、学習者と向き合っているのか、長年の経験を通したお話を聞きました。また、VUCA(ブーカ)の時代=不確かな時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)と言われる今、生きる力に繋がる対話を通したコミュニケーション能力を深めていくことが大事だということ学びました。地域日本語教室の、日本語学習支援者の可能性は『従来型ではない、限定的ではない、新たな日本語学習支援のカタチ』を提供していくことであり、私たちのマインドセットの必要性も感じました。

## 日本語サロンで「あべのタスカル」へ行きました

開催日：6月1日(木)午前10時～

参加者：12名(うち外国人学習者4名)

(韓国、中国、ミャンマー、インドネシア)

### 学習者の感想

- 観光できて楽しかったです。今までにない経験ができて勉強になりました。
- あべのタスカルにいつか行きたいですね！楽しかったです。行く前には遠足のように感じながら出発しました。実際行って見たら悲しい話、怖い話を聞いて、色々考えるチャンスになりました。皆さんとごはんを食べながらおしゃべりもできて楽しかったです。また今度一緒に楽しい事したいですー！
- これを通して、皆は防火の知識を学んだだけでなく、さまざまな災害の前で安全に避難する方法を学びました！これは非常に有意義な体験であり、私たちの生活に大きな助けとなりました！このイベントを企画して下さった先生方に感謝します！



### <協会からのお知らせ>

協会では各種イベントや語学講座などでの事故に備え、団体傷害保険に入っています。参加途上も含め、もし事故に遭われましたら協会事務局までご連絡ください。

# 日本語学習者による発表 ~日本語サロン(木曜教室)~ ~日本と似てるけど違う国・韓国~

発表者：チャン・ホゴンさん

開催日：6月22日(木)午後1時半~3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2

参加者：30名



韓国って  
どんな国？



## チャンさんの感想

偶然の機会韓国について多くの方々  
に話すことになりました。最初は自分  
も知らないことが多すぎてたくさん悩  
みました。それでも出来るだけ一生懸  
命準備して、多くの方々が応援してく  
れて、手伝ってくださって講義を無事  
に終えました。始めて思ったのとは違  
う話をするようになりましたが、聞く  
方々の多くの関心と質問がとても嬉し  
かったです。また機会があれば韓国の  
他の話を紹介したいと思います。あり  
がとうございました。

## 担当ボランティアの感想

日本と朝鮮半島は距離が近いので、中  
国を中心とする大陸文化が朝鮮半島を  
通って日本文化となったもの、逆に朝  
鮮半島に流れ韓国の文化になったもの  
と、今回の準備で沢山の事を学ばせて  
頂きました。(北岡)

## ● 伝統文化

サムルノリ：四つの楽器(ケンガリ、チン、チャンゴ、プツ)を使用。  
タルチュム：仮面を被って踊る宮廷での踊り。新羅時代。  
ハングル：1444年世宗(朝鮮王)が漢字の読めない国民の為に作った。  
チェギチャリ：冬から正月の遊び。

## ● 休日

正月(1月1日)ですが、旧正月(旧暦の正月)の方が盛大。  
遊びはユンノリ(双六)、花札をする。

## ● 結婚

伝統結婚：国際結婚だったらする場合がある。

一般結婚：日本とあまり変わらない。

## ● 食べ物

チヂミは何でも混ぜて焼いたら美味しい、という感覚の料理で、  
日本の天ぷら、の感覚と似ている。日本でもなじみの料理が沢山ある。

## ● 現代文化

漫画雑誌もあったが、今はネットで読むことが多くなり雑誌は無くなっ  
た。ドラマの原作は漫画を使用することもあり、ロマンスのワンパター  
ンだけじゃなくSF、ファンタジーフィクション等も企画になっている。

## 参加者の感想

- 日本語がとても上手で楽しい講座でした。
  - チャンさんの人柄がよく表れていたのがよかったです。
  - 最後に答え難い質問をしてしまったが、若い人は反日感情は少なくなっていると聞いて安心した。
  - 韓国のこと、いろいろ知ることができよかったです。
- 質問コーナーももりあがって楽しかった。結婚式の映像よかったです！
- すごく「自分という個性」を持っておられる先生で、とてもオモシロかったです。お幸せに！

## ラオスの伝統儀式“バーシー” ペンネーム:とりぞう

ラオスでは「ໄຫວ້ຊຸ້ໂວ້ (バーシー・スー・クワン)」と呼ばれる儀式があります。  
ラオスの人々にとってとても大事な儀式の一つで、新年や結婚式、出産のお祝  
い、歓迎、旅立ち、死別、大きな催事などの節目ごとに行われます。多くの場  
合はラオスの民族衣装やパービャン(肩から掛ける布)を着用します。儀式で  
は、「パークワン」と呼ばれるバナナの葉や花の置物に、もち米や鶏を一緒  
にお供えし、参加者は囲むように座ります。魂どうしが繋がるようにパークワン  
から繋がれた糸を握り、祈禱師が儀式を執り行います。お祈りの後、精霊(ク  
ワン)が身体から出ていかないように、また、悪いことは出ていくようにと唱  
えながら、参加者は互いの手首に糸(マツトケーン)を巻きます。若者の間  
では「お金持ちになれますように」「素敵な恋人ができますように」とお祈りす  
ることも多いです。大きなお寺では、お坊さんがお祈りしながらマツトケーン  
を結んでくれるところもあります。



## 〈結果報告〉

- 4月18日(火)に理事会を開催しました。(於：コミュニティプラザ会議室3・4)23名出席。
- 4月25日(火)に定期総会を開催し、審議の結果、いずれも異議なく承認されました。(於：コミュニティプラザ3階コンベンションホール)合計61名出席(個人会員37名、家族会員5名、団体会員19名、重複6名含)

## ご挨拶 新副会長 溝口重雄



私は本年4月に図らずも摂津市自治連合会会長に就任したが故、同時に充て職として当交流協会の副会長のご縁を戴くことになった。今後微力ではあるが、皆様方のご協力のもとと尽くして参りたいと思っている。

先ずは、前職経験上の話題について—高槻市でも本市同様大阪府の仲介により、戦後昭和の時代に中国との都市交流を持つことになった。何よりも比較的スムーズに進展した背景には、戦前満州時代から電源開発の要職にあって、後代日中の総合貿易である「LT貿易の調印」でも有名な、鳥飼の隣村三ヶ牧出身の経企庁長官を務められた名誉市民でもある高崎達之助氏の存在が大きく幸いしたのである。今も御名刺大事にしております。先刻コロナ禍にあった折、マスク外交があったとの由。ほっとした一人である。



## 3年ぶりのフィリピン 佐藤未奈



2020年3月、フィリピンではコロナ感染拡大を防ぐため、ロックダウンが宣言されました。当時、私は夫のいるマニラにいました。48時間後に外出が禁止される、というニュースを見た時、出国できなくなるかもしれないと思い、急いで飛行機に飛び乗りました。フィリピンでは2ヶ月にわたって厳しい外出制限が続き、「世界で最も長いロックダウン」と呼ばれました。フェイスシールドの着用も義務化され、学校は2年半の間、対面授業が禁止されました。医療水準が決して高くないことや、人口密度が高いこと、政府からの資金給付が手薄い状況を見ると、当時は非常に厳しい状況だったと思います。

日本でも徐々に制限が解除され、今年5月にやっとフィリピンに行ける日がやってきました。マスク着用も緩和されてきてはいましたが、機内では着用が必須。マスクをしていない乗客は、搭乗口でストップされていました。

フィリピンの空港に降り立つと、まだ皆マスクをしていたので、少し警戒感がありましたが、空港から一歩外に出ると誰もマスクをしていませんでした。フィリピンの家族は、帰宅後に手を洗う習慣もない様子(笑)一時は非常に厳しい外出制限を繰り返していた国が、今ではコロナが無かったかのような日常に戻っていて、昨日までここに居たかのような不思議な感覚でした。

次に戦後処理の一環として帰国子女の受け入れ問題があったが、高槻市では公営住宅も用意され、日本語教室も現場は大変であったものの広く市民の温かい支援もあり彼らは現地地で培った忍耐力—生活力により、それぞれ遅く溶け込んでいかれた様子、確かにそれも一面ではあるが如何せん償うことのでき得ないものをどう考えるのか、今こそ私達は20世紀の教訓として自問自答を求められているのではないか。

終わりに、あくまでも一般論ではあるが国際交流には政治事情とは一定距離をおいて、即ち文化や経済活動の特殊事情に視点を据え展開すべきであるとの考え方があってのではないか。しかし他方、国際法上のルールや我が国の外交原則でもある国連中心主義や自由主義諸国との協調等に反する、例えば南シナ海の領有権問題の判決に対して「紙くず」発言をする等。「孔子を筆頭とする礼の思想の発祥地であり古くからローマ法に比肩するほど完成度の高い法を有する文明国」としての評価はどうなってしまったのか。今後あるべき国際交流として一考しなければならない課題であるとの声にもどう対応するのか頭の痛いことである。

一方で、少し変化も見られました。まず、現金を使わないQR決済アプリが発達し、スマホ一つでどこでも買い物ができるようになっていました。また、カフェに行くと紙のメニューがなく、QRコードで読み取るシステムになっていました。通販のサービスも以前より充実していて、あらゆる面でデジタル化が進んだようです。

また、道端ではマンゴー屋さんがマンゴーを売りにきていました。今まではスーパーや市場でしか買えませんが、家まで販売しにきてくれるサービスが登場したようです。ロックダウン中は年齢制限もあり、買い物に行けない高齢者のために、家を一軒一軒回って販売するスタイルを始めたそうです。マンゴーだけでなく、野菜や薬の移動販売もしているとのことでした。新しいアイデアで、厳しい状況を乗り越えてきたフィリピン人のたくましさを感じた瞬間でした。何も無かったかのような日常の中で、ちょっとずつ変わっていたフィリピン。世界は少しずつ、前を向いて進んでいるようです。



## 摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL : 06-6319-6251 FAX : 06-6318-6004

Email : office@settsu-saie.org

URL : <http://settsu-saie.org>

開室時刻 : 平日 9:30~12:00、13:00~16:30

(休館 : 第4水曜日)

## 会員募集

●年会費 : 個人 : 3,000 円 / 家族 : 5,000 円

青少年 : 1,000 円 / 法人・団体 : 10,000 円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。



LINE 公式アカウント

アカウント名 :  
摂津市国際交流協会  
ID : @462xxegy